2024年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年８月10日

上場会社名	株式会社ジャムコ	上場取引所	東
コード番号	7408	URL https://www.jamco.co.jp/	
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 阿部　俊之	
問合せ先責任者	(役職名) 常務執行役員	(氏名) 後藤　健太郎	(TEL) 042-503-9145
四半期報告書提出予定日	2023年８月14日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．2024年３月期第１四半期の連結業績（2023年４月１日～2023年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年３月期第１四半期	14,617	105.5	234	95.8	170	△19.4	390	4.1
2023年３月期第１四半期	7,111	△32.5	120	―	211	―	375	―

(注) 包括利益 2024年３月期第１四半期　554百万円(△5.5%)　2023年３月期第１四半期　586百万円(―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年３月期第１四半期	14.57	―
2023年３月期第１四半期	14.00	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年３月期第１四半期	103,999	13,937	13.0
2023年３月期	100,794	13,383	12.9

(参考) 自己資本 2024年３月期第１四半期　13,541百万円　2023年３月期　13,019百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2024年３月期	―				
2024年３月期(予想)		0.00	―	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2024年３月期の連結業績予想（2023年４月１日～2024年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,800	52.0	5,000	188.4	3,200	183.9	2,280	4.9	85.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　　：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　　：無

③　会計上の見積りの変更　　　：無

④　修正再表示　　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年３月期１Ｑ	26,863,974株	2023年３月期	26,863,974株
②　期末自己株式数	2024年３月期１Ｑ	39,089株	2023年３月期	39,089株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2024年３月期１Ｑ	26,824,885株	2023年３月期１Ｑ	26,825,010株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報
（１）経営成績に関する説明 …………2
（２）財政状態に関する説明 …………5
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …………5
２．四半期連結財務諸表及び主な注記
（１）四半期連結貸借対照表 …………6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …………8
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …………8
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …………9
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …………10
（継続企業の前提に関する注記） …………10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …………10
（セグメント情報等） …………11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことを受け、経済・社会活動などは正常化が進む一方で、ウクライナ問題の長期化によるエネルギー価格の変動や原材料価格の上昇、世界的なインフレによる金利上昇などから景気後退局面への懸念などにより、依然として不透明な状況が続きました。このようななかで、ドル円為替相場は対米ドル円レート131円台から144円台で推移しました。

航空輸送業界では、国内線に加え国際線の航空旅客需要も急速に回復してきていることからエアラインでは大口の機体発注などの動きが見られ、これを受けて航空機メーカーは機体の増産に取り組んでいます。一方で、機材の運航や空港施設、加えて機体製造に係わるサプライチェーン全体においては人材不足となり、人材確保が急務となっています。

このようななかで当社グループでは、2030年におけるジャムコグループのあるべき姿、進むべき方向性を明文化したJAMCO Vision 2030を実現するための三本柱として、JX：ジャムコ・トランスフォーメーション（業務改革）、SX：サステナビリティ・トランスフォーメーション、HRX：ヒューマンリソース・トランスフォーメーションのタスクチームを設置して、当社業務の基礎課題を解決すべく推進体制の強化を行いました。

航空機内装品等製造関連においては、航空旅客需要の回復に伴い、航空機メーカーの増産やエアラインのスペアパーツ需要の増加に対応すべく、増産体制強化に取り組みました。

航空機シート等製造関連においては、ボーイング787型機以外の他機種展開に取り組んできたビジネスクラス・シート「Venture」がKLMオランダ航空のボーイング777型機のワールドビジネスクラスシートに初めて採用され、運航が開始されました。更に、次期ビジネスクラス・シート「Quest for Elegance」の開発にも取り組みました。

航空機器等製造関連においては、生産性改善の取組みを行うと共に、熱可塑CFRP（炭素繊維強化プラスチック）を活用した航空機用軽量機体部材の開発やCFRP部材の航空機分野以外への展開を進めました。

又、製造工程においては、生産拠点の再構築を含む業務効率改善活動を継続すると共に、フィリピン工場の能力・機能拡張計画や国内外のサプライチェーンの強靭化に着手しました。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取組みを継続すると共に、エアライン、官公庁向け整備の受注に努め、安定した収益を上げるため事業基盤の強化に取り組みました。更に、無人航空機（ドローン）に対する運用サポートなどの新規事業分野への取組みも開始しました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 14,617百万円（前年同四半期比 7,505百万円増）、営業利益 234百万円（前年同四半期比 114百万円増）、経常利益 170百万円（前年同四半期比 41百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 390百万円（前年同四半期比 15百万円増）となりました。

なお、当第１四半期連結会計期間末に第２四半期連結会計期間以降の完成工事に対する工事損失引当金を 4,643百万円計上しております。この工事損失引当金による期間損益への影響は、当第１四半期連結会計期間において売上原価 362百万円の増加（2023年3月期末の工事損失引当金は 4,280百万円）となりました。

グループ全体の販売費及び一般管理費、営業外損益、法人税等調整額の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、販売手数料、試験研究費及び人件費の増加などにより 2,243百万円（前年同四半期比 348百万円増）となりました。

営業外損益は、米国ドル金利の上昇などにより支払利息が増加したことなどにより 64百万円の損（前年同四半期は、91百万円の益）となりました。

法人税等調整額は、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産の計上により△402百万円（前年同四半期は、△249百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[航空機内装品等製造関連]

当事業では、ボーイング787型機向け製品の出荷が再開したことや運航機数の増加によりエアライン向けスペアパーツ販売が増加したことなどから、前年同四半期に比べ売上高は増加しました。又 、経常利益については、利益率の高いスペアパーツ販売の増加に加え、外貨建て売上高の円安による効果などから増加しました。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高 9,757百万円（前年同四半期比 5,221百万円増）、経常利益 1,929百万円（前年同四半期比 830百万円増）となりました。

[航空機シート等製造関連]

当事業では、ボーイング777型機向けビジネスクラス・シート「Venture」の出荷が開始されたことなどから、前年同四半期に比べ売上高は増加しました。一方、経常損益については、他機種展開に伴う初期費用の増加や円安によるドル建てコストの上昇などにより経常損失となりました。

この結果、航空機シート等製造関連は、売上高 1,871百万円（前年同四半期比 1,730百万円増）、経常損失 1,765百万円（前年同四半期は、経常損失 719百万円）となりました。

[航空機器等製造関連]

当事業では、炭素繊維構造部材などの出荷が増加したことから前年同四半期に比べ売上高は増加しました。又、経常損益については、経常損失となりましたが、売上高の増加や採算性向上活動への取組みなどから改善しました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 1,185百万円（前年同四半期比 230百万円増）、経常損失 40百万円（前年同四半期は、経常損失 90百万円）となりました。

[航空機整備等関連]

当事業では、機体整備において完成工事が増加したことなどから前年同四半期に比べ売上高は増加しました。又、経常損益については、売上高の増加などにより改善し、経常利益となりました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 1,801百万円（前年同四半期比 322百万円増）、経常利益 46百万円（前年同四半期は、経常損失 77百万円）となりました。

[その他]

その他の区分には、連結子会社の株式会社オレンジジャムコの事業を含んでおり、当社施設内の清掃及び補助的作業等セグメント間の内部取引が中心です。

この結果、その他の区分では、売上高 0百万円（前年同四半期比 0百万円増）、経常損失 0百万円（前年同四半期は、経常利益 0百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産・負債・純資産の状況）

当第１四半期連結会計期間末の資産合計は 103,999百万円となり、前連結会計年度末に比べ 3,205百万円増加しました。内、流動資産については、受取手形、売掛金及び契約資産の減少（前期末比 1,372百万円減）等がありましたが、現金及び預金の増加（前期末比　1,936百万円増）、商品及び製品の増加（前期末比 870百万円増）等により流動資産合計で前連結会計年度末に比べ 2,522百万円増加しました。又、固定資産については、有形固定資産の増加（前期末比 75百万円増）、無形固定資産の増加（前期末比 105百万円増）等により固定資産合計で前連結会計年度末に比べ 682百万円増加しました。負債合計は 90,061百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2,650百万円増加しました。主な要因は、円安による短期借入金の増加（前期末比 2,001百万円増）、電子記録債務の増加（前期末比 889百万円増）等によるものです。

純資産合計は 13,937百万円となり、前連結会計年度末に比べ 554百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加等によるものです。この結果、自己資本比率は13.0％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第１四半期連結累計期間の業績は、2023年５月12日に公表した連結業績予想値に対して、利益面の進捗は想定を上回りました。これは、運航機数の増加に伴い航空機内装品等製造関連におけるスペアパーツ販売が増加したことや、為替レートが想定より円安で推移したことなどによるものです。

現時点において、連結業績予想の前提となる為替レートは130円/米ドルから変更しておらず、連結会計年度の業績予想に変更ありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2023年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,334,303	10,270,449
受取手形、売掛金及び契約資産	17,615,106	16,242,595
商品及び製品	1,611,483	2,481,807
仕掛品	26,231,269	26,722,696
原材料及び貯蔵品	20,890,021	21,132,106
その他	2,681,843	3,037,863
貸倒引当金	△42,366	△43,521
流動資産合計	77,321,661	79,843,999
固定資産		
有形固定資産	11,590,565	11,665,730
無形固定資産	1,807,682	1,912,739
投資その他の資産	10,074,709	10,577,263
固定資産合計	23,472,956	24,155,733
資産合計	100,794,618	103,999,733
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,719,765	5,018,547
電子記録債務	2,997,441	3,887,407
短期借入金	50,022,940	52,023,950
1年内返済予定の長期借入金	1,060,000	60,000
未払法人税等	700,808	212,136
前受金	8,374,234	7,873,105
賞与引当金	1,237,674	1,879,293
工事損失引当金	4,280,336	4,643,105
その他	3,638,895	4,013,762
流動負債合計	77,032,097	79,611,308
固定負債		
長期借入金	1,250,000	1,250,000
退職給付に係る負債	6,702,461	6,725,107
損害補償損失引当金	972,797	1,056,207
製品保証引当金	1,166,789	1,166,789
その他	286,896	252,430
固定負債合計	10,378,944	10,450,533
負債合計	87,411,041	90,061,841

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2023年６月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,318,925	4,318,925
利益剰余金	2,819,869	3,210,796
自己株式	△31,405	△31,405
株主資本合計	12,467,283	12,858,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176,474	207,098
繰延ヘッジ損益	－	△60,349
為替換算調整勘定	424,767	584,037
退職給付に係る調整累計額	△48,564	△47,936
その他の包括利益累計額合計	552,677	682,849
非支配株主持分	363,616	396,831
純資産合計	13,383,576	13,937,891
負債純資産合計	100,794,618	103,999,733

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2022年４月１日 至　2022年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年６月30日）
売上高	7,111,476	14,617,264
売上原価	5,095,759	12,138,311
売上総利益	2,015,717	2,478,953
販売費及び一般管理費	1,895,680	2,243,974
営業利益	120,036	234,978
営業外収益		
受取利息	3,501	16,013
受取配当金	1,728	1,980
為替差益	297,418	281,875
持分法による投資利益	－	47,213
受取保険金	7,932	14,493
助成金収入	13,512	32,866
その他	6,423	6,161
営業外収益合計	330,516	400,605
営業外費用		
支払利息	202,493	383,955
持分法による投資損失	18,050	－
売掛債権譲渡損	3,149	43,496
支払補償費	4,112	26,991
その他	11,016	10,543
営業外費用合計	238,822	464,987
経常利益	211,730	170,596
特別利益		
助成金収入	111,628	－
特別利益合計	111,628	－
特別損失		
固定資産処分損	1,720	1,034
新型コロナウイルス感染症関連損失	45,724	－
特別損失合計	47,445	1,034
税金等調整前四半期純利益	275,913	169,561
法人税、住民税及び事業税	150,546	178,703
法人税等調整額	△249,617	△402,516
法人税等合計	△99,071	△223,813
四半期純利益	374,985	393,374
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△651	2,448
親会社株主に帰属する四半期純利益	375,636	390,926

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2022年４月１日 至 2022年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2023年４月１日 至 2023年６月30日）
四半期純利益	374,985	393,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,329	30,623
繰延ヘッジ損益	-	△60,349
為替換算調整勘定	214,039	190,037
退職給付に係る調整額	△6,709	628
その他の包括利益合計	211,659	160,939
四半期包括利益	586,645	554,314
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	549,614	521,099
非支配株主に係る四半期包括利益	37,030	33,215

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　2022年４月１日　至　2022年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他(注)	合計
	航空機内装品等製造関連	航空機シート等製造関連	航空機器等製造関連	航空機整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,535,826	141,306	954,592	1,479,148	7,110,874	602	7,111,476
セグメント間の内部売上高又は振替高	82,055	-	733	15,217	98,006	30,426	128,433
計	4,617,882	141,306	955,325	1,494,365	7,208,880	31,029	7,239,910
セグメント利益又は損失(△)	1,098,854	△719,663	△90,395	△77,841	210,954	776	211,730

(注)　「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、主に当社施設内の清掃及び補助的作業を行っております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	210,954
「その他」の区分の利益	776
四半期連結損益計算書の経常利益	211,730

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　2023年４月１日　至　2023年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他(注)	合計
	航空機内装品等製造関連	航空機シート等製造関連	航空機器等製造関連	航空機整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,757,615	1,871,990	1,185,507	1,801,489	14,616,602	662	14,617,264
セグメント間の内部売上高又は振替高	86,586	-	307	12,177	99,071	32,055	131,127
計	9,844,201	1,871,990	1,185,815	1,813,667	14,715,674	32,717	14,748,392
セグメント利益又は損失(△)	1,929,835	△1,765,084	△40,668	46,975	171,057	△460	170,596

（注）「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、主に当社施設内の清掃及び補助的作業を行っております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	171,057
「その他」の区分の利益	△460
四半期連結損益計算書の経常利益	170,596

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。